

四国を結ぶ。
これからも。

E11高松自動車道 善通寺IC～三島川之江IC 開通30周年

高松自動車道 開通30周年	…	1
---------------	---	---

高松自動車開通による整備効果

高松自動車道30年のあゆみ	…	4
時間短縮による県間移動人数の増加	…	5
高速バスによる県間移動の支援	…	6
香川県産ブロッコリーが全国の食卓へ	…	7
新鮮な香川県産いちごが食卓へ	…	8
新鮮な香川県産レタスが食卓へ	…	9
香川県産マーガレットの流通を支援	…	10
養殖ブリの流通を支援	…	11
工業団地への企業進出と商業施設の出店	…	12
インターチェンジ整備による地域活性化	…	13
香川県発着の物流を支える	…	14
県外観光客の増加に寄与	…	15
こんぴら参りに高速道路が寄与	…	16
お遍路巡りに貢献	…	17
地域スポーツ活動を応援	…	18
災害時における早期啓開・機能確保	…	19
Wルートを形成し、代替路を確保	…	20
救急搬送時の医療施設の選択肢拡大	…	21

高松自動車道 開通30周年

昭和62年12月16日に高松自動車道 善通寺IC～三島川之江ICが開通し、今年で30周年を迎えます！

主な出来事

- 1985 (S60). 3 松山自動車道 三島川之江-土居 開通 (四国で初めての高速道路開通)
- 1985 (S60). 6 大鳴門橋 開通
- 1987 (S62). 12 高松自動車道 善通寺-三島川之江 開通 (香川で初めての高速道路開通)
- 1988 (S63). 3 瀬戸中央自動車道 全線開通 (児島・坂出ルート完成)
- 1992 (H4). 1 高知自動車道 川之江JCT-大豊 開通 (高松自動車道と高知自動車道が接続)
- 1992 (H4). 4 高松自動車道 高松西-善通寺、坂出-坂出JCT 開通 (本州・四国間が高速道路で直結)
- 1998 (H10). 3 高松東道路 津田東-さぬき三木 開通
- 1998 (H10). 4 神戸淡路鳴門自動車道 全線開通 (神戸・鳴門ルート完成)
- 1999 (H11). 5 来島海峡大橋、多々羅大橋、新尾道大橋 開通 (尾道・今治ルート完成)
- 2000 (H12). 3 徳島自動車道 井川池田-川之江東JCT 開通 (エクスハイウェイ完成)
- 2001 (H13). 3 高松自動車道 板野-津田東、さぬき三木-高松中央 開通 津田の松原SA営業開始
- 2001 (H13). 11 四国の高速道路にETC導入
- 2002 (H14). 7 高松自動車道 鳴門-板野 開通 (関西・香川県間が高速道路で直結)
- 2003 (H15). 3 高松自動車道 高松中央-高松西 開通 (高松自動車道 全線開通)
- 2005 (H17). 10 日本道路公団民営化により、NEXCO西日本発足
- 2006 (H18). 3 高松自動車道 三豊鳥坂IC運用開始 (地域活性化ICとして、全国初の完成)
- 2006 (H18). 4 しまなみ海道 全線開通
- 2008 (H20). 3 高松自動車道 府中湖スマートIC運用開始
- 2015 (H27). 3 徳島自動車道 鳴門JCT-徳島 開通 (高松自動車道と徳島自動車道が接続し、鳴門JCT-川之江JCTのダブルネットワークが完成)
- 2017 (H29). 3 豊浜SA(下り線)リニューアルオープン
- 2017 (H29). 12 高松自動車道 善通寺-三島川之江が開通して30周年
- 2019 (H31). 春 高松自動車道 鳴門-高松東 4車線化完成を目指す



<凡例>
■ 高速道路等(NEXCO西日本管理区間。各時点供用区間)
■ 本四連絡道路(JB本四高速管理区間。各時点供用区間)
■ 新直轄高速道路等(国土交通省・県管理区間。各時点供用区間)

香川県で初めての高速道路開通



(1987)

瀬戸大橋の開通で本州と四国が直結



(1992)

四国4県都を直結する「エクスハイウェイ」



(2000)

四国内の高速道路が京阪神と直結



(2006)

四国8の字ネットワークを目指して



(2017)

高松自動車道の変遷



高松自動車道 善通寺IC～三島川之江IC開通式(1987年)



高松自動車道 高松西-善通寺 開通記念イベント(1992年)



高松自動車道 高松中央IC～高松檜紙IC 工事中(1999年)



高松自動車道 三豊鳥坂IC 完成式(2006年)



高松自動車道 板野IC～引田IC 4車線化工事中(2017年)



高松自動車道30年のあゆみ

みち、ひと…未来へ。



E11 高松自動車道の概要

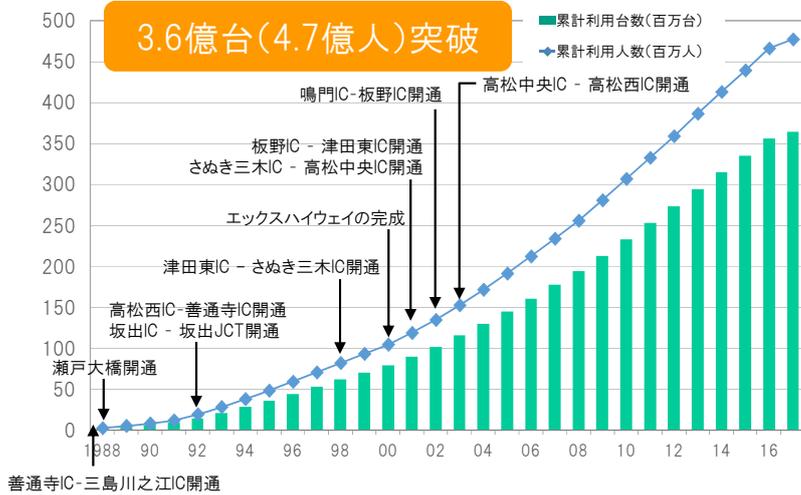
- 区 間 : 鳴門IC ~ 川之江JCT
 - 延 長 : 124.2 km
 - 変 遷
- 1987年12月 普通寺IC-三島川之江IC 開通
(1888年4月 瀬戸中央自動車道 全線開通)
- 1992年4月 高松西IC-普通寺IC開通
坂出IC - 坂出JCT開通
- ⇒ 本州・四国間が高速道路で直結
- 1998年3月 津田東IC - さぬき三木IC開通
(1998年4月 神戸淡路鳴門自動車道 全線開通)
(2000年3月 エクスハイウェイ完成)
- 2001年3月 板野IC - 津田東IC開通
さぬき三木IC - 高松中央IC開通
- 2002年7月 鳴門IC-板野IC開通
- ⇒ 関西・香川県間が高速道路で直結
- 2003年3月 高松中央IC - 高松西IC開通



■ 1985年度に開通 ■ 1986年度から2000年度に開通 ■ 2001年度以降に開通
■ 開通30周年の区間(1987年12月開通)

開通から30年、交通量が着実に増加し、延べ3.6億台(4.7億人)にご利用頂きました

● 高松自動車道のこれまでの利用状況



● 高松自動車道開通による時間短縮便益

約9,500億円/30年

出典)NEXCO西日本調べ

○利用人数の算出方法

- ・対象区間 : 鳴門IC ~ 川之江JCT
- ・対象期間 : 1988年1月~2017年6月(30年間)
- ・各年の年間利用台数(台) × 平均乗車人数(センサス値)
- ・平均乗車人数はセンサス実施年から次回実施年までのセンサス値を適用
- ・大型車混入率を乗じて、乗用車と普通貨物の2車種で算出

○時間短縮便益の算出方法

- ・対象区間 : 鳴門IC ~ 川之江JCT
- ・算定期間 : 1988年1月~2017年6月(30年間)
- ・所要時間算出区間 : with・withoutともに鳴門IC ~ 川之江JCT間
- ・NITASによる条件設定 : 2015年速度データ
- ・高速道路の年間利用台数(台)を対象

● 高松自動車道の昔と今



1987年(普通寺IC付近)



2017年(普通寺IC)

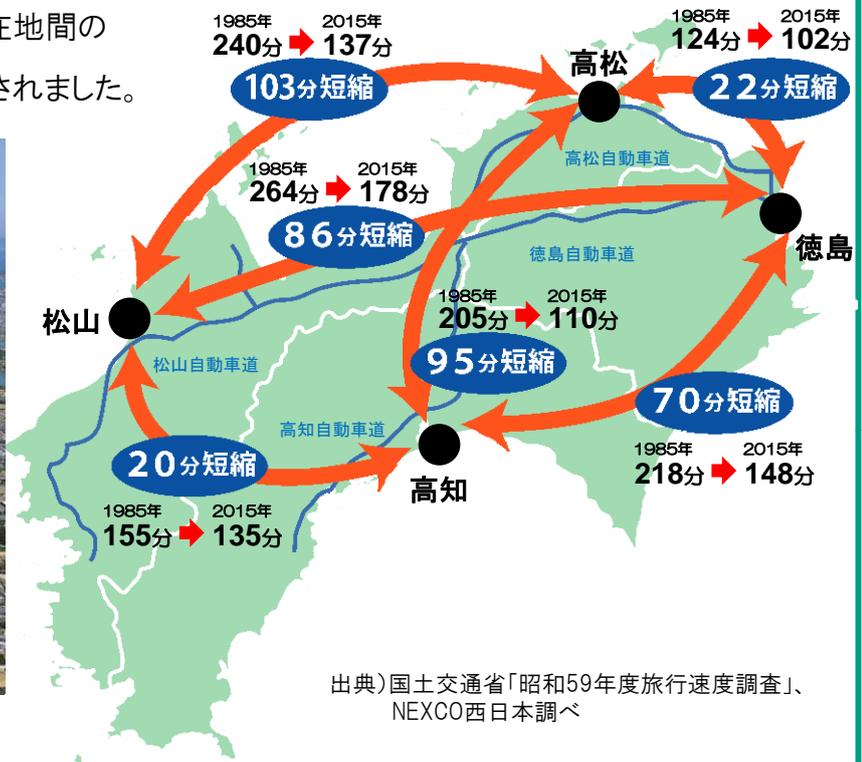
時間短縮による県間移動人数の増加

四国的高速道路開通による4県間の時間短縮

高速道路の整備により、四国内各県の県庁所在地間の移動にかかる時間は **最大100分程度短縮** されました。



坂出JCTから瀬戸大橋を望む

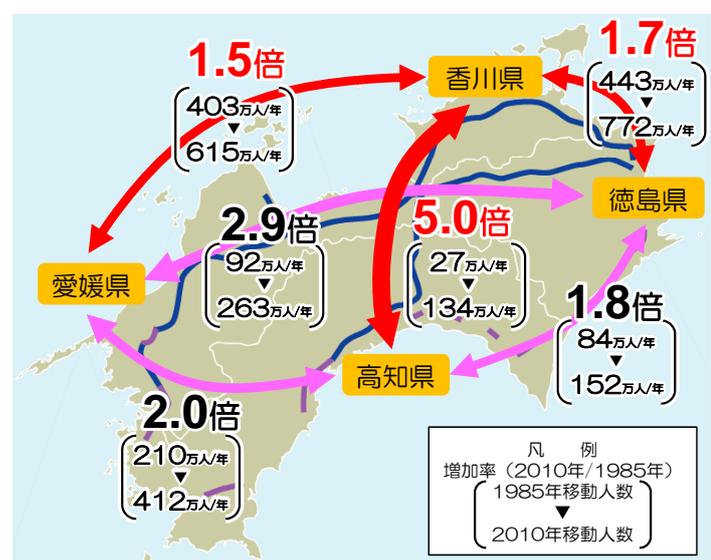


出典)国土交通省「昭和59年度旅行速度調査」、NEXCO西日本調べ

移動時間が短くなり、自動車移動する人が着実に増加しました

●自動車による各県間の移動人数

移動時間が短くなり、自動車で各県間を移動する人が **約1.5～5倍** に増えています。



出典)1985年、2010年道路交通センサスにおける乗用車ODより算出、国土交通省

●一般の方々が実感された高速道路の効果

愛媛からうどんを食べに思いつきで香川まで行けるようになった。
友人が遊びに来て、同様に前よりもずっと早く四国内を案内できる。



40代男性 愛媛県在住

何年か前までは実家に帰るとき、途中までしか高速道路が無く時間もかかっていましたが、今は全線開通という事で直ぐそばまで開通しているため、帰省時間も大幅に短縮されて快適に帰省しています。



40代男性 香川県在住

友達の運転でよく県外（特に本州）に出かけるようになり、身近な存在になっています。また、数年前に家族全員で岡山に旅行に出かけましたが、家族で初めての旅行であり、高速道路があることで、気軽に行くことができました。



20代女性 香川県在住

出典)NEXCO西日本調べ

四国の高速道路開通による4県間の時間短縮

高速道路の整備により、四国内各県の県庁所在地間の移動にかかる時間は**最大100分程度短縮**されました。



2017年(坂出JCT付近)



出典)国土交通省「昭和59年度旅行速度調査」、NEXCO西日本調べ

移動時間が短くなり、県間の高速バスで移動する人が増加しました

●バスによる各県間の移動人数

高松～松山・高知・徳島間を高速バスで移動する人は、年間約39万人(平成28年度)です。また、高松を発着する四国内の高速バスは、**これまでに約760万人の方に利用**されました。

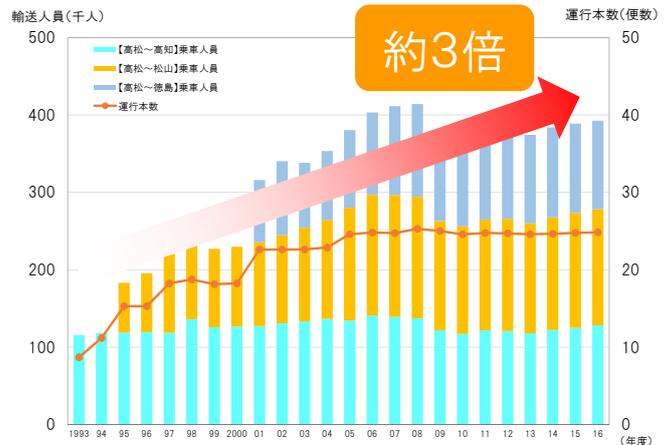


凡例
H28年度輸送人員
運行開始翌年度の輸送人員
増加率

出典)四国運輸局「四国における運輸の動き」
※高松～松山：H7年度→H28年度
高松～高知：H5年度→H28年度
高松～徳島：H13年度→H28年度
平成9年度以前は高速バス運行会社提供資料より

●高速バス利用者数の推移

高速道路開通に伴う高速バスの運行開始後、高松を発着する**利用者数は約3倍に増加**しました。



出典)高速バス運行会社提供資料より

注:1本=片道でカウント



高松道開通前も高知～高松のバス路線はありましたが、1日1往復夜行バスで片道6時間程度で運行していました。

ジェイアール四国バス(株)

ブロッコリー栽培が盛んな香川県

ブロッコリーは香川県に1970年前後から導入され、県西部を中心に県下全域で栽培されています。近年は出荷作業の支援などにより**作付面積**、**生産量**ともに増加し、2015年の生産量は10,700tで**全国4位**となっています。

●ブロッコリーの作付面積と生産量の推移



全国4位

生産量の
全国シェア約7%

出典)農林水産省
「野菜生産出荷統計」

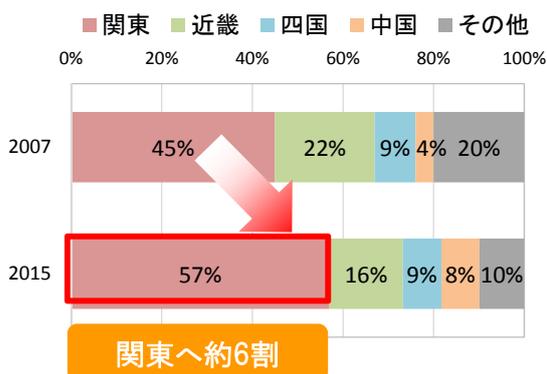


写真:JA香川県提供

高松自動車道が青果物の流通を支援し、全国の食卓を支えています

高松自動車道の整備と鮮度を保つ氷詰め出荷の確立で、より品質の高いブロッコリーを運ぶことが可能となりました。栽培されたブロッコリーの**約6割は関東地方**に出荷され、東京卸売市場での**取扱量も約26倍**に増加しています。

●香川県産ブロッコリーの地域別出荷割合



●香川県産ブロッコリーの東京卸売市場全体の取扱量推移



JA香川県

栽培されたブロッコリーは高速道路を利用し、主に関東地方へ出荷しています。朝採りの徹底や氷詰め出荷体制の確立により、他産地より品質面で上回っています。また氷点下の冷蔵庫での保存により、消費地への出荷量を調整できる有利性を持っています。



出典)JA香川県ヒアリング結果をもとに作成

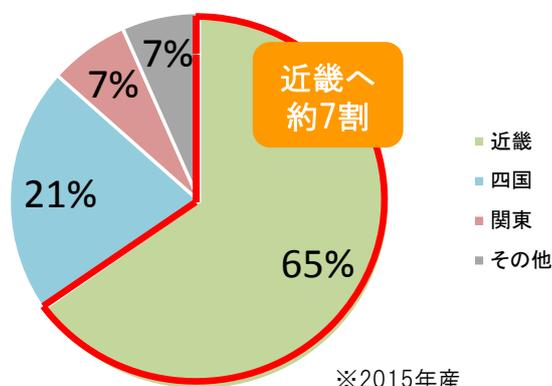
香川県のいちご栽培

いちごは1970年頃のビニールハウスの普及とともに伸び、1975年には作付面積が300haに達しました。その後、生産者の高齢化などにより減少傾向にありましたが、高設栽培のいちごらくちんシステムの開発・普及により近年は作付面積を維持しています。香川県産いちごは近畿方面を中心に出荷されており、JA香川県における出荷額の約1/6を占めています。



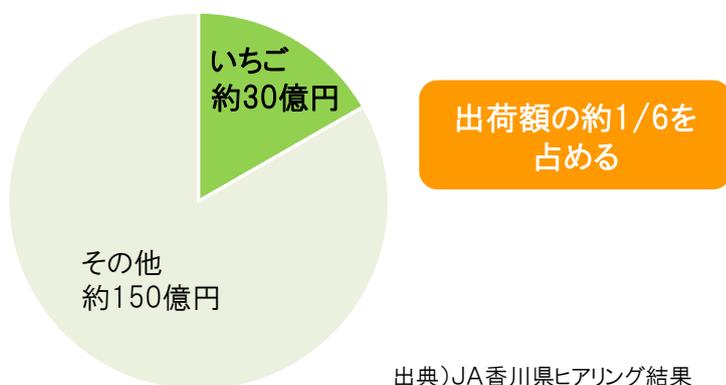
写真:JA香川県提供

●香川県産いちごの地域別出荷割合



出典)香川県「香川の農業・水産業」

●JA香川県の出荷額に占めるいちごの取扱高

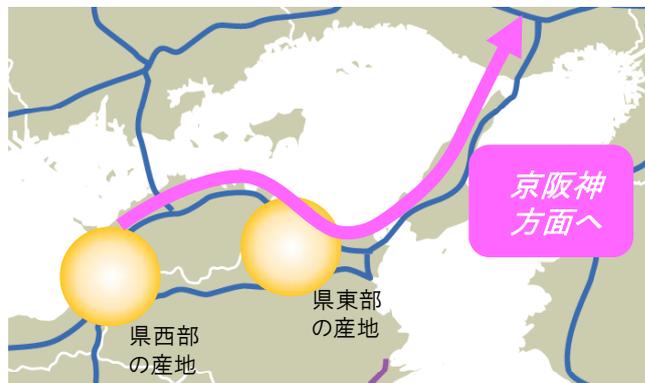


出典)JA香川県ヒアリング結果

新鮮な朝採りのいちごがいち早く食卓へ

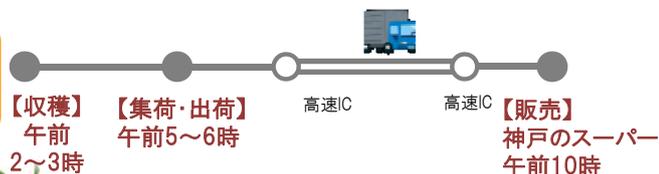
高松自動車道の整備により、輸送時間の短縮が図られ、京阪神方面へ朝採れた新鮮ないちごを出荷し、当日販売できるようになりました。

●いちごの出荷経路



●いちごの販売までのスケジュール

朝採りにも
対応可能



出典)JA香川県ヒアリング結果をもとに作成



写真:JA香川県提供



JA香川県

京阪神、特に神戸向けの朝採りの対応ができるようになったことが、高速道路の開通のメリットとして大きいです。朝採りのいちごをスーパーの開店に間に合わせて出荷できるようになりました。

香川県のレタス栽培

レタスは昭和35年から、県西部を中心に温暖な気候を活かして栽培が続けられています。2014年の香川県の農業産出額の上位品目を見ると、レタスは**46億円**と、**鶏卵、米、プロイラー**に次ぐ**産出額**となっています。10月から5月までの冬季に栽培・収穫され、東京都中央卸売市場の取扱量では**最大で16.6%**のシェアを占めています。



写真:JA香川県提供

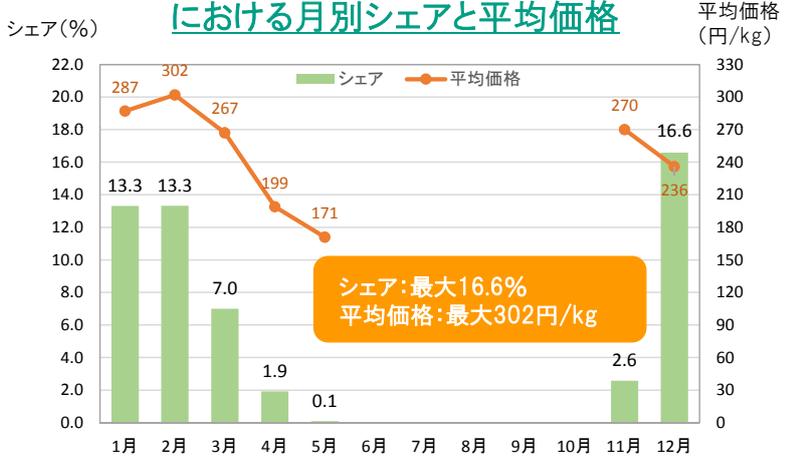
●香川県産の農業産出額上位5品目

産出額順位・産出品目	香川県			全国上位の都道府県		
	産出額(億円)	全国シェア(%)	全国順位(位)	1位	2位	3位
1 鶏卵	133	2.6	17	茨城	千葉	鹿児島
2 米	96	0.7	40	新潟	北海道	秋田
3 プロイラー	51	1.6	14	宮崎	鹿児島	岩手
4 レタス	46	4.9	6	長野	茨城	兵庫
5 肉用牛	44	0.7	31	鹿児島	北海道	宮崎

※2014年産

出典)農林水産省「生産農業所得統計」

●香川県産レタスの東京都中央卸売市場における月別シェアと平均価格

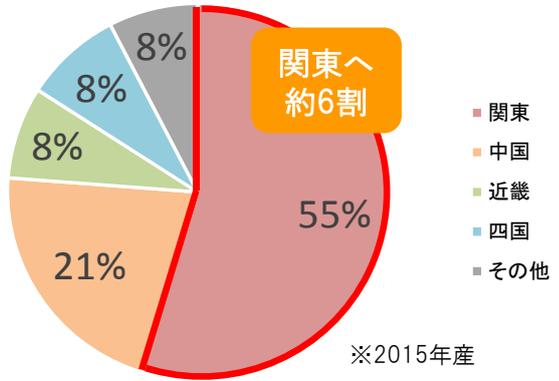


出典)東京都中央卸売市場-市場統計情報(平成28年)

新鮮な香川県産レタスが食卓へ

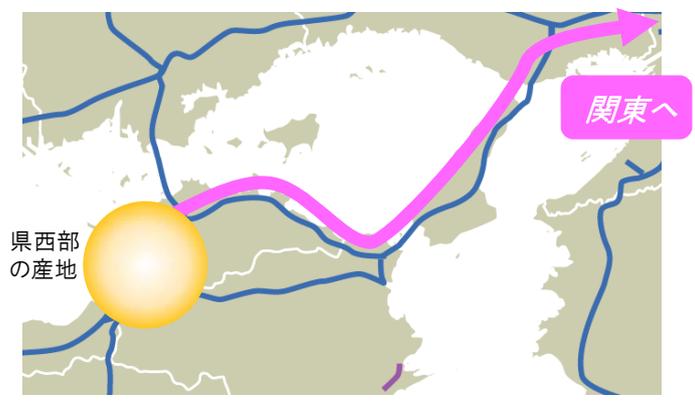
香川県西部で採れたレタスは関東、関西、中国地方など全国各地に出荷されています。特に**関東地方**へは、収穫されたレタスの**約6割**が高松自動車道を利用して運ばれています。

●香川県産レタスの地域別出荷割合



出典)香川県「香川の農業・水産業」

●レタスの出荷経路



出典)JA香川県ヒアリング結果をもとに作成

高速道路の開通前は一般道とフェリーを利用して関西、関東などに品物を運んでいました。高速道路の開通やトラックの冷蔵性能の向上もあって、より鮮度の高い品物を流通でき、有利に販売できるようになりました。



JA香川県

生産量全国1位のマーガレット

香川県の花きの栽培は、キクやカーネーション、マーガレットなどの施設花きと伝統園芸である盆栽を中心に行われています。マーガレットは主に香川県西部の三豊市で栽培されており、**生産量全国1位、全国シェアは約70%**を誇っています。花の見頃を過ぎても花弁が散らず、次々と蕾が花を咲かせる特徴を持つことから「落ちない花」として受験生などに向けてPRが行われています。

●香川県産マーガレットの全国シェア

全国シェア1位 生産量3,050千本

※2013年産



出典)香川県「100の指標からみた香川」



マーガレット

写真: JA香川県提供

高松自動車道がマーガレットの流通を支援しています

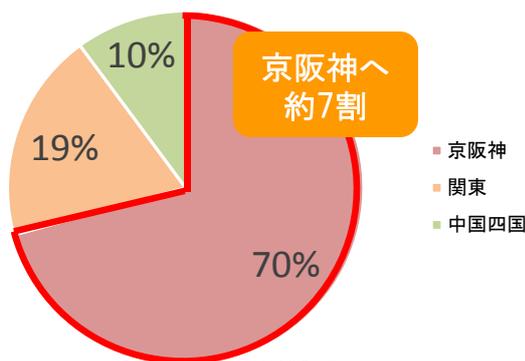
高松自動車道の整備により、輸送時間の短縮が図られ、複数の場所に**効率的に早く配送することが可能**となりました。仁尾中央集荷場には三豊市で栽培されたマーガレットが集まり、**京阪神を中心**に関東や広島、高松に出荷されています。

●関西方面への出荷ルート



出典)JA香川県仁尾中央集荷場ヒアリング結果および提供写真より作成

●香川県産マーガレットの地域別出荷割合



※2015年産

出典)香川県「香川の農業・水産業」

マーガレットの出荷では、複数の場所に効率的に早く配送する必要があるため、高速道路を利用しています。生産者が集荷場に運んで来て、早ければ昼前に出荷し、関西方面には夕方に到着し、翌朝にセリが行われます。

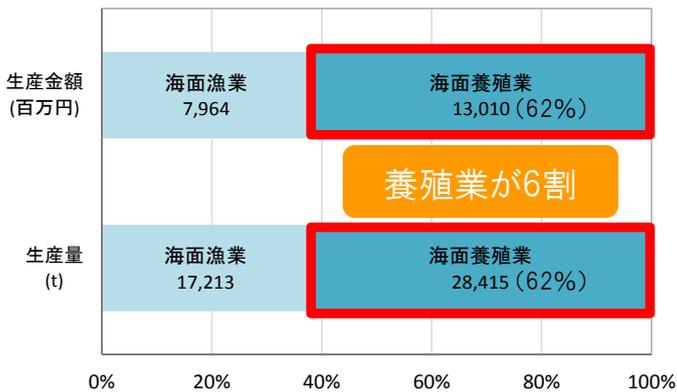


JA香川県
仁尾中央集荷場

養殖業が盛んな香川県

香川県の水産業は、海面養殖業が生産量、生産金額ともに6割を超え、**養殖業中心の生産構造**となっています。特にひけた鰺、オリーブハマチが有名です。

●香川県の水産業の生産量割合



出典) 農林水産省「平成27年漁業・養殖業生産統計」「平成27年漁業産出額」



写真: 東かがわ市提供

高松自動車道が養殖ブリの流通を支援しています

高松自動車道の整備により、輸送時間の短縮が図られ、**輸送の効率性が向上**しました。また、鮮度のよい養殖ブリの輸送に**高松自動車道が欠かせないもの**となっています。

●輸送の効率性向上

昔は引田漁港からの荷物だけを関西圏に運んでいましたが、高松自動車道の開通により、宇和島や高知からの輸送が早くなりました。その結果、宇和島や高知からの荷物が引田を經由して一緒に運べるようになり、輸送方法が増え、**効率性が向上**しました。



引田漁業協同組合

写真: 香川県漁業協同組合連合会提供

関西方面へ



輸送方法の増加
輸送の効率性向上

出典) 東かがわ市ヒアリング結果より作成

●香川県産養殖ブリの大阪市中央卸売市場における取扱量とシェアの推移



出典) 大阪市中央卸売市場年報



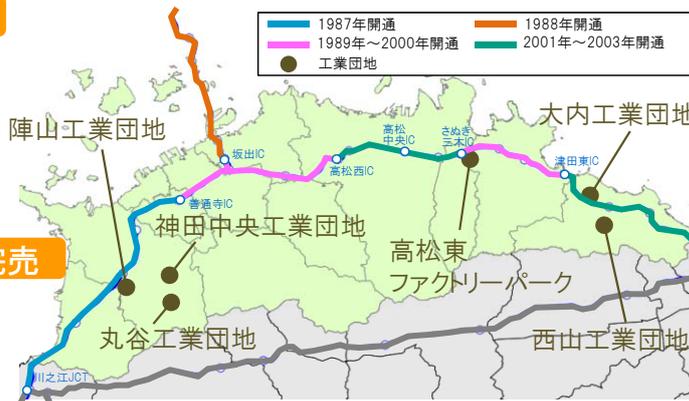
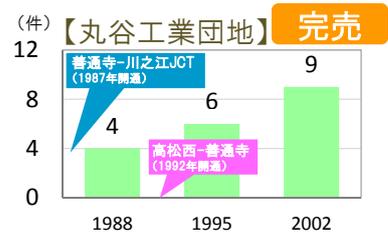
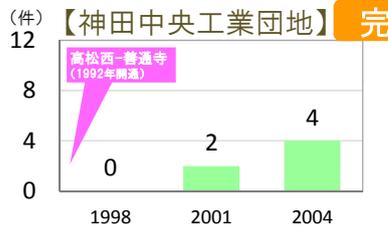
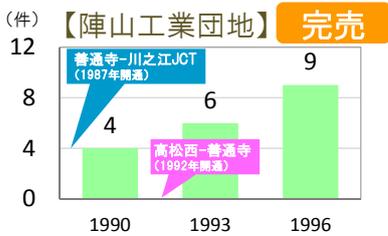
水産輸送業者

大阪の市場まで大体3時間くらいかかりますが、時間短縮のため、ほとんど高速道路を利用しています。セリの時間や鮮度のことを考えても、高速道路は輸送に**欠かせないもの**です。

高松自動車道沿線の工業団地に企業が進出

沿線の工業団地では、**高速道路へのアクセスが良好な立地**であることから、**企業が次々に進出**しています。

●沿線の工業団地と立地企業数の推移

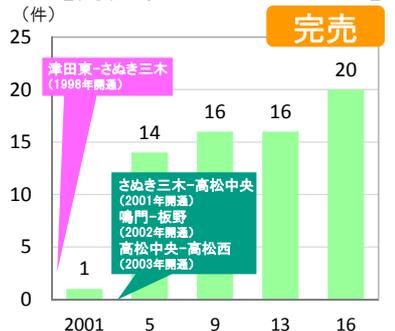


【大内工業団地・西山工業団地】



出典) 東かがわ市ヒアリング結果より作成

【高松東ファクトリーパーク】



出典) 香川県資料



食品製造企業
(丸谷工業団地)

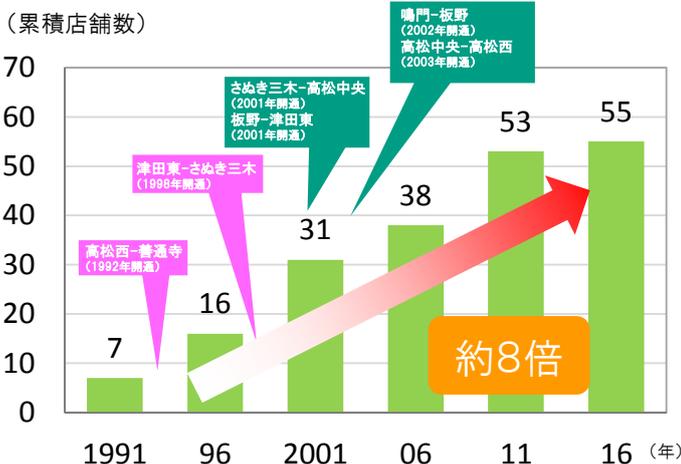
物流の拠点として、四国内各拠点への配送面、四国外からの配送面を考慮し、川之江JCT、瀬戸中央自動車道へのアクセスを踏まえ、さぬき豊中ICから約20分の丸谷工業団地に立地しました。

出典) 三豊市資料、三豊市「みとよの身の丈」

商業施設の出店

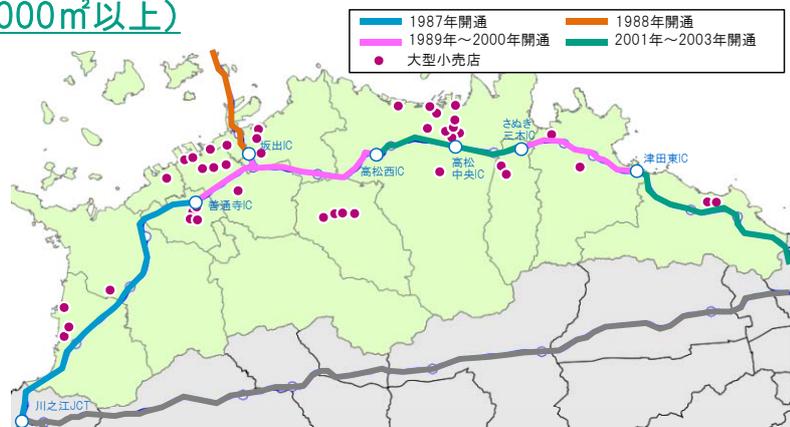
香川県の主要な大型小売店(5,000㎡以上)は、2016年現在で55店舗立地し、**25年前と比較して約8倍に増加**しています。高松道によるアクセス性の高さ等の要因により、遠方からの来店者もいます。

●香川県の主要な大型小売店舗数と位置(5,000㎡以上)



※小豆島は除く

出典) 百十四経済研究所「2016・2017版香川県のすがた」



※小豆島は除く

出典) 百十四経済研究所「2016・2017版香川県のすがた」



30代女性
徳島県在住

高松道のおかげで、高松市内の店によく買い物に行くようになりました。

出典) NEXCO西日本調べ



インターチェンジ整備による地域活性化



三豊鳥坂インターチェンジの整備

三豊鳥坂インターチェンジは、善通寺ICとさぬき豊中ICのほぼ中間に追加設置したICで、地方公共団体が主体となって整備する「地域活性化IC制度」を利用したICとしては全国で一番目(2006年)に開通したICです。開通から10年程が経過し、**出入交通量は約1.6倍に増加**しています。

●三豊鳥坂ICの出入交通量の推移

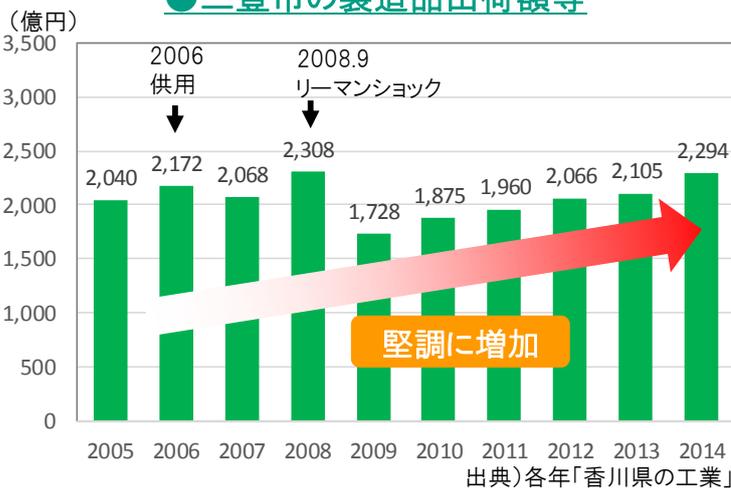


三豊鳥坂IC

三豊市の地域活性化を後押しします

三豊鳥坂IC開通時、三豊市では大企業を誘致しており、その後、**製造品出荷額等も堅調に増加**しています。また事業所数・従業者数では県内上位であるなど、インターチェンジの整備が**三豊市の地域活性化を後押し**しています。

●三豊市の製造品出荷額等



●香川県内の事業所数・従業者数ベスト5

三豊市が事業所数で3位、従業者数で2位

事業所数 (事務所)		従業者数 (人)	
自治体	事業所数	自治体	従業者数
1位 高松市	591	1位 高松市	15,451
2位 観音寺市	197	2位 三豊市	7,405
3位 三豊市	194	3位 丸亀市	7,004
4位 丸亀市	168	4位 観音寺市	6,907
5位 坂出市	164	5位 坂出市	6,486

出典)平成26年「香川県の工業」



三豊鳥坂ICから企業誘致箇所を望む



三豊市
産業政策課

三豊鳥坂IC開通時に中古車オークションを行う大企業を誘致することができました。運輸関係の事業所数は2012年から2014年で5件増加しており、三豊鳥坂ICやさぬき豊中ICがあるおかげで、物流倉庫のハブ的な利用がなされていると想定されます。

交通面での道路環境は重要で、岡山・高松からの利便性が優れていることが、企業立地の要因の一つです。



株式会社トヨタユーゼック
TAA四国会場

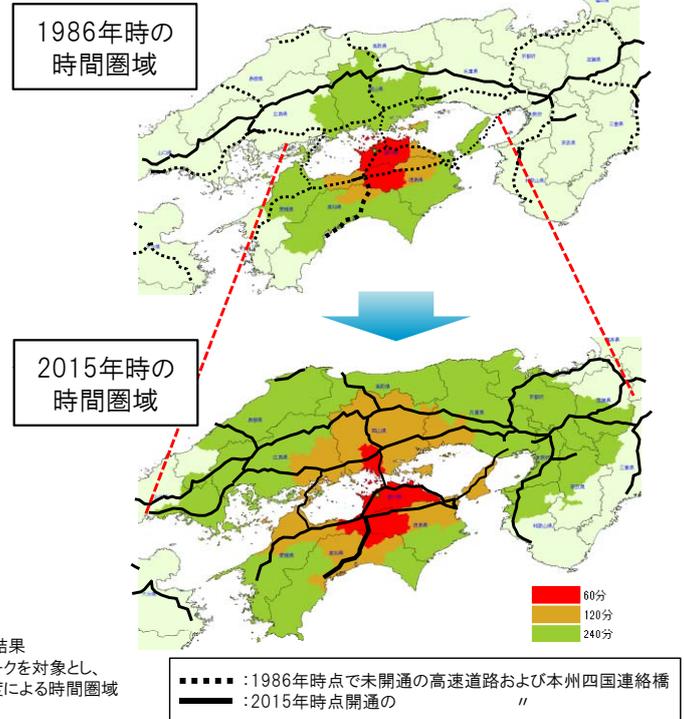
高速道路開通による時間圏域の拡大

高松自動車道をはじめ、高速道路ネットワークの形成により、**時間圏域が大幅に拡大**しました。



府中湖PA付近から高松市方面を望む

●普通寺IC付近を起点とした時間圏

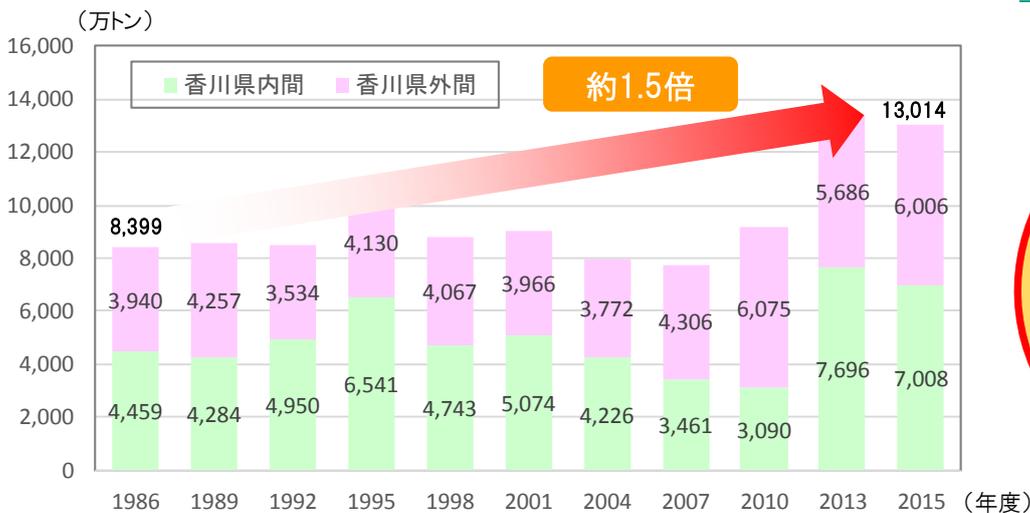


出典)NITASIによる所要時間の算定結果
1986年時と2015年時道路ネットワークを対象とし、
普通寺ICを起点とした2015年時速度による時間圏域

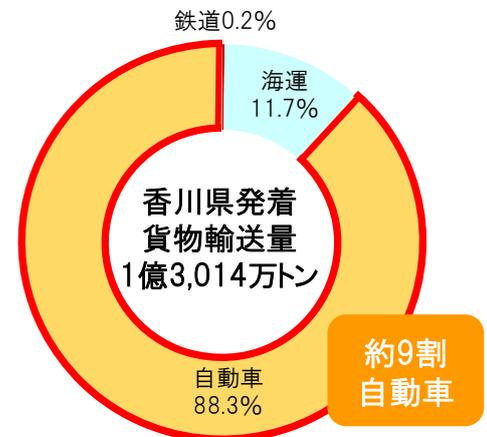
高松自動車道が香川県内の物流を下支えしています

高松自動車道の整備による**輸送時間の短縮等**により、多くの企業の輸送で自動車が使われています。

●香川県の県内外別貨物輸送量の推移



●香川県の輸送機関別の貨物輸送量構成比



出典)貨物地域流動調査



これまで1日で1往復しかできなかった運行が2往復できるようになったなど、時間短縮による生産性の向上が高速道路の整備による一番のメリットです。

魅力あふれる観光施設が高速道路沿線に存在

高松自動車道の沿線には、栗林公園や琴平、善通寺などのお遍路の札所、歴史や自然の魅力にあふれる多数の観光施設があります。

●香川県内の主要な観光施設



【栗林公園】



【善通寺】

写真:香川県観光協会提供



出典)「さぬきオリジナル観光地図」香川県を元に作成

写真:金刀比羅宮提供

高松自動車道が県外観光入込客数の増加に寄与

県内の観光施設を訪れる県外からの観光客は増加傾向にあり、その**約8割が自動車**を利用して観光施設に向かっています。

さらに、高松自動車道等の開通により**県外観光客数が増加**しています。

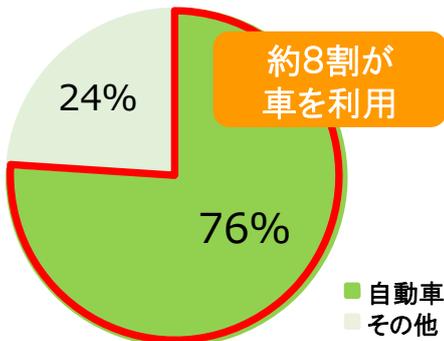


【30代女性
徳島県在住】

高松道を通って、よく香川の本場のうどんを食べに行ったり、香川にしかないショッピングモールに行ったりして楽しかった思い出があります。

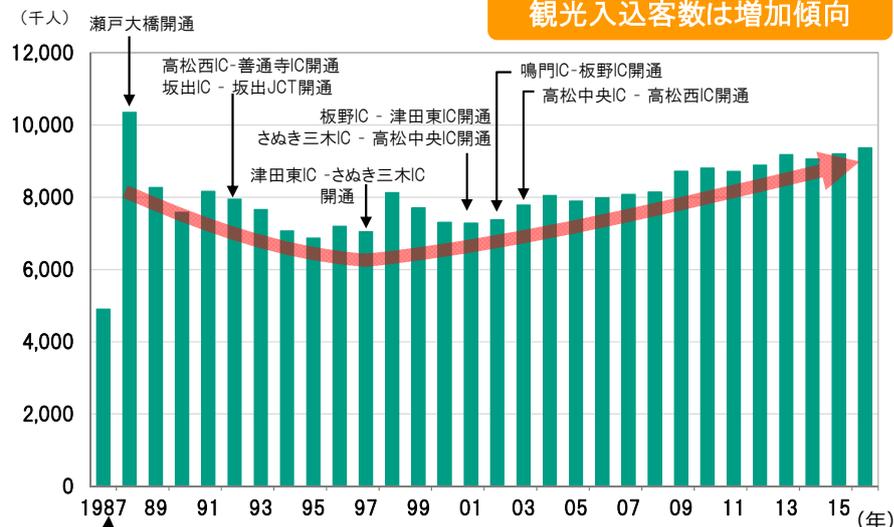
出典)NEXCO西日本調べ

●県外観光客の利用交通手段



出典)平成28年香川県観光客動態調査報告

●県外観光客入込数の推移



善通寺IC - 三島川之江IC開通

出典)「香川県観光客動態調査報告」(平成16年～平成28年)

“こんぴらさん”は香川県内で入込客数が最も多い観光地

「さめきのこんぴらさん」で有名な金刀比羅宮は、象頭山の中腹に鎮座し、古来より海の神様、五穀豊穰・大漁祈願・商売繁盛など広範な神様として全国津々浦々より、善男善女の信仰をあつめてきました。参道口から御本宮までは785段、奥社までは1,368段の石段があり、参道には旧跡や文化財が多数あります。

●平成28年度香川県の観光地入込状況

順位	観光地	入込客数(人)
1	琴平	2,314,000
2	ニューレオマワールド	1,022,160
3	栗林公園	709,839
4	さめきこどもの国	658,782
5	国営讃岐まんのう公園	495,423
6	寒霞渓ロープウェイ	320,978
7	玉藻公園	238,146
8	ゴールドタワー	228,976
9	二十四の瞳 映画村	190,274
10	地中美術館	185,332



写真:金刀比羅宮提供

出典)「平成28年度 四国の主要観光地入込状況について」、国土交通省四国運輸局

高松自動車道が県外観光入込客数の自家用車による訪問に寄与

平成29年のゴールデンウィークにおける調査では、“こんぴらさん”を訪れる観光客は関東・近畿・中部地方など遠方からが約9割を占めています。また**約6割が自家用車**を利用して訪れています。

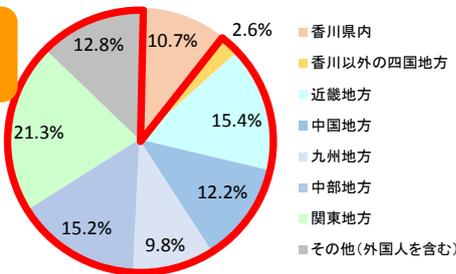
時代の流れに合わせて客層や旅行形態が変化しており、団体客が減り、個人客は増えているので交通量は増えていると思う。また若者が増えたので、門前通りにソフトクリーム店（13店舗）が激増した。



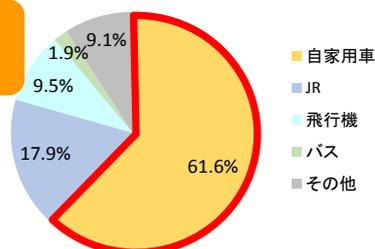
琴平町観光協会

●こんぴらさん入込客の出発地と交通手段

約9割が
県外



約6割が
自家用車



●県外からの利用経路



家族でこんぴら参りに行った時、とても早く行けて、ゆっくり観光が出来て良かった。



【50代女性
愛媛県在住】

出典)琴平観光協会提供資料
「平成29年ゴールデンウィークアンケート調査結果」

出典)琴平町観光協会ヒアリング結果を元に作成

出典)NEXCO西日本調べ

香川県内の札所の多くが高速道路沿線に存在

四国霊場八十八ヶ所のうち、香川県にある札所は全部で23寺あります。
お遍路の交通手段には、“歩き遍路”、“バス遍路”、“車遍路”など様々です。

— 高速道路
● 香川県内の札所

●香川県内の札所

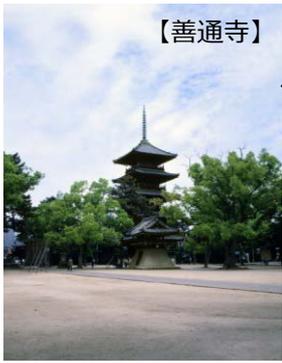


写真:香川県観光協会提供

高松自動車道が多様なお遍路の順拝方法に寄与

交通手段が多様化したことにより、足の弱い高齢者など順拝したくてもできなかった人まで参加できるようになりました。また、週末のみお遍路される方など個人の事情に合わせたお遍路も増加し、**様々な順拝コースも設定されている中で、高松自動車道も利用されています。**



【40代女性
愛媛県在住】

四国八十八ヶ所と四国別格二十霊場を巡礼するのがライフスタイル（趣味）なので高速道路の利用で行きやすくなりました。

出典)NEXCO西日本調べ

●順拝コースまでのアクセス経路

お遍路で高速利用



出典)旅行会社HPを元に作成

●四国八十八ヶ所霊場の バスによる順拝日数の変化

昭和30年頃

15泊16日

現在

10泊11日

出典)愛媛県「四国遍路のあゆみ(平成12年度遍路文化の学術整理報告書)」、四国の道路を考える会(NPO法人四国の道路サポータークラブ)事務局「四国路 四国の道の情報誌(2017 vol.45)」

高速道路の整備により、四国外から自家用車を利用する車遍路が増加しました。



香川県交流推進部

香川県では地域に密着したスポーツが活性化しています

第99回全国高校野球選手権大会(平成29年度)において、三本松高校がベスト8に進出しました。

三本松高校の甲子園応援では、大型バスで総数93台(8月13日:40台、18日:22台、20日:31台)が高速道路を利用して甲子園に応援に向かいました。

●三本松高校甲子園ベスト8を後押しした応援団



写真:香川県立三本松高等学校提供

選手の移動や観戦者の利便性が向上し、甲子園出場を支援

甲子園出場のほか、年間10回程高松自動車道を利用し、四国内や関西、中国方面へ遠征しています。

甲子園応援や練習試合等では、多くの道具等の運搬を伴うので、**バスで高速道路を使うのは便利で、ゆとりある行程計画作成に寄与**しています。



写真:香川県立三本松高等学校提供



出典)香川県立三本松高等学校ヒアリング結果を元に作成

甲子園までは、淡路での休憩を入れて、2時間半で到着し、ゆっくりした行程を計画できました。本校は、3試合とも1・2試合目が出発時間が早く、公共交通機関を使うとなれば、応援は無理だったので、バスで高速道路を使っただけの応援は計画を立てやすかったです。

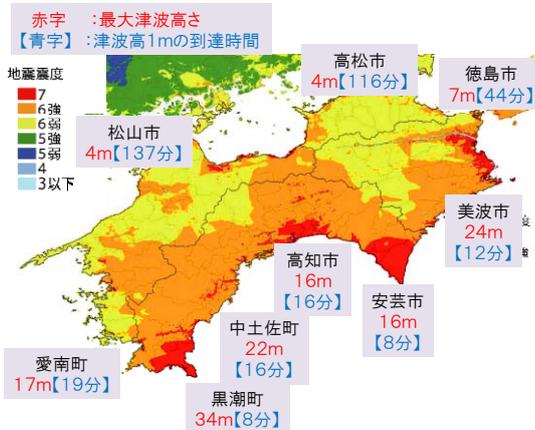


香川県立三本松
高等学校職員

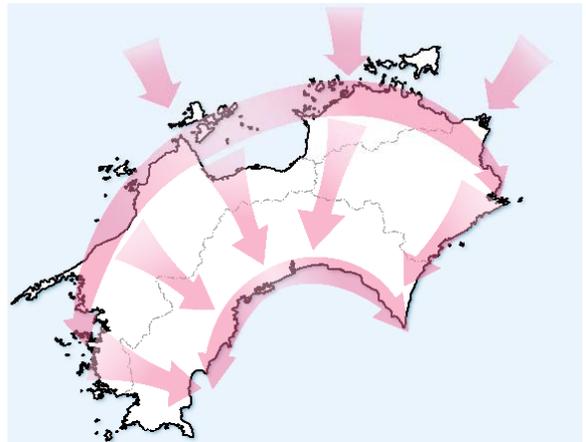
南海トラフ巨大地震の発生への備え

四国では、南海トラフ地震の発生により、津波被災をはじめとする甚大な被害が危惧されており、東日本大震災の際の「くしの歯」作戦のような**迅速な道路啓開が、人命救助や緊急物資の輸送、さらには復旧・復興に大きく寄与**すると考えられています。南海トラフ地震発生の際、瀬戸内側から被害の甚大な太平洋側へアクセス可能となるよう、優先的に啓開するルート「進出ルート」を設定し、扇状に道路啓開を進行します。(四国おうぎ(扇)作戦)

●南海トラフ巨大地震における津波高、到達時間、震度分布



●四国おうぎ(扇)作戦

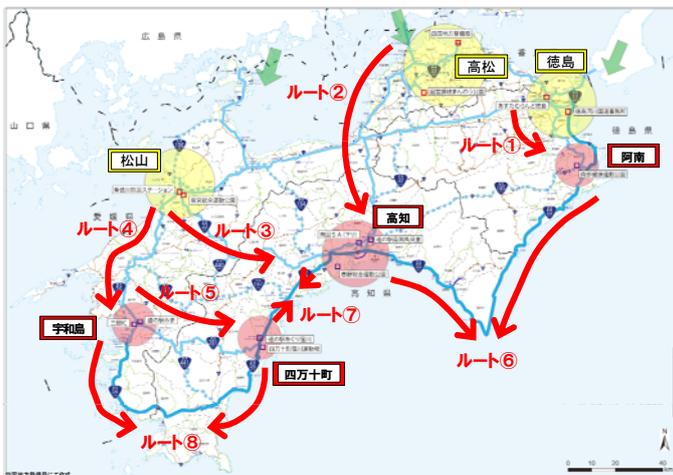


出典)第3回四国道路啓開等協議会「四国広域道路啓開計画概要版」を基に作成

「四国おうぎ(扇)作戦」による道路啓開

「四国おうぎ(扇)作戦」の対象となる優先的に啓開するルートとして、中央防災会議で示された「緊急輸送ルート」を勘案しつつ、瀬戸内側から被害の大きい太平洋側へ進出するために最低限必要なルートと、災害等により復旧に時間を要する場合の代替として機能するルートとして、**高松自動車道を含む下記の「進出ルート」が選定**されています。

●広域道路啓開のための「進出ルート」



ルート	路線
①徳島～阿南	県道1号等 高松自動車道、徳島自動車道、国道55号等
②高松～高知	高松自動車道、高知自動車道、国道32号等
③松山～高知	国道33号、国道197号、国道440号等
④松山～宇和島	松山自動車道 国道56号等
⑤宇和島～四万十町	国道320号、国道381号、国道441号等
⑥高知～室戸～阿南	国道55号等
⑦高知～須崎～四万十町	国道56号等
⑧宇和島～宿毛～四万十町	国道56号等

●自衛隊との共同訓練



段差すり付け走行訓練(2016年 高瀬PA)

出典)第3回四国道路啓開等協議会「四国広域道路啓開計画概要版」を基に作成



Wルートを形成し代替路を確保



Wルートを形成し広域交通の代替路を形成

徳島自動車道が通行止めの場合であっても、高松自動車道とのWルートを形成していることで迂回することが可能となっており、**リダンダンシーが確保された安心な高速道路ネットワークが形成**されています。

●徳島自動車道の通行止め事例

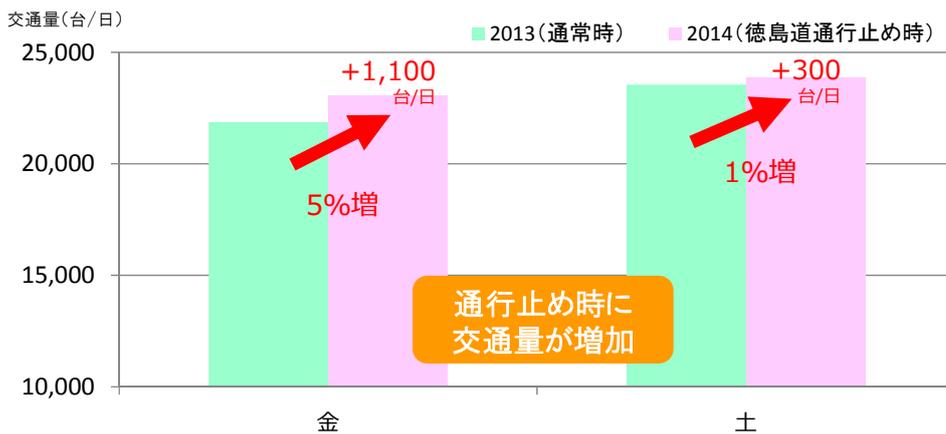
- ・大雪により、川の江東JCT～井川池田IC間が通行止めが発生。
通行止め日時：2014年12月5日(金)AM3:20～12月6日(土)PM2:00



●代替路の形成



●高松自動車道の全線平均交通量の変化



出典)NEXCO西日本調べ ※通行止め時と前年の同曜日の高松道全線の平均交通量を比較



救急搬送時の医療施設の選択肢拡大

高松自動車道沿線に救急医療施設が立地

香川県の第三次・第二次救急医療施設は、高松自動車道沿線に分布しています。
平成28年には、約1,600人が高松自動車道を利用し、医療施設へ搬送されています。

●高松自動車道を利用した救急搬送の実績



出典)第六次香川県保健医療計画および消防本部ヒアリング結果を元に作成

医療機関の選択や搬送の時間短縮が図れるようになりました

例えば、善通寺市消防本部管内で救急搬送が発生した場合でも、高松自動車道を利用することで、高松道沿線の複数の病院へ搬送することが可能となるなど、広域的な選択肢も広がっています。

●善通寺市役所から時間短縮と善通寺市消防本部の搬送実績のある病院までのルート



病院の選択肢が増加

出典)NITAS算出結果(高松自動車道あり/なしで比較)および善通寺市消防本部ヒアリング調査結果を元に作成



香川県危機管理総局

搬送経路や搬送先医療機関の選択肢が増加しました。また、遠方にある医療機関への搬送時間の短縮および確実な搬送が可能になりました。



善通寺市消防本部

救急搬送において搬送時間はもちろんの事、走行時の安全性や快適性なども患者への負担や車内での応急処置に大きく影響しています。



みち、ひと…未来へ。

